

第5回	司法裁判制度	中国司法制度の変遷と現状を説明し、参審制度を含む中国の裁判権の行使等について分析する。 また司法制度改革等も紹介し、課題や今後の動向を検討する。 更に、法曹養成の実態と司法試験についても紹介する。
第6回	憲法概説	どういった社会経済的背景の下で、いかなるイデオロギーや理念に基づき、中国「憲法」が作られ、また改正されたのかについて説明する。更に、中国憲法の特徴的な内容やそれに関する議論等について紹介し、今後の課題と動向も考える。
第7回	刑事法概説	古代刑法と現行刑法の繋がりを分析しながら、膨大な現行中国刑事法体系の形成と展開を詳解する。更に、最も中国の伝統法文化を内包する規定内容や頻繁に改正された条文内容についても紹介する。
第8回	民事法概説	中国民事法の複雑な体系と特徴的な基本原則を紹介するとともに、その立法主旨、立法過程、規定内容について解釈する。更に、民法典整備における難問、課題および今後の立法動向についても分析する。
第9回	商事法概説	中国法における民法、商法、経済法の交錯と論争を紹介する上、中国法構造上の商法の位置づけや現在の整備状況について講義する。そのうち、保険法分野の実態や外資系保険会社の進出状況を取り上げて説明する。
第10回	企業法概説	中国企業の類別、特質を分析しながら、その企業社会の構造を紹介する。更に、中国会社法の基本的原則や独特な性格を説明しながら、法の適用状況や改正会社法の主要な規定内容について、比較法的に分析する。
第11回	涉外法制度概説	涉外法制度の枠組みおよび多元的構造を整理した上、中国法における涉外法制度の位置づけや特徴等を分析する。また、共生経済における企業の生き方と企業法務の国際化を考える。
第12回	涉外企業法	中国進出外資系企業の実例を見ながら、国際企業活動や中国ビジネス法務等に関する講義をし、涉外企業法の活用術を検討する。 また、最新の涉外企業政策と法改正についても詳しく紹介する。
第13回	国際商事紛争の救済	国際企業活動は国内企業活動より多種多様なリスクが付いているため、商事紛争やビジネストラブルも多発している。よく使われている救済手段を実例で説明し、それぞれの使い方や有効性等を検討する。
第14回	国際商事紛争の予防	国際商事紛争の予防は、国際企業活動の一環として認識されつつあるが、まだ重要視されていない。紛争救済より、その紛争予防策がいかに大事か、有効か、また企業活動と紛争予防のつながりやリスクマネジメントについても講義する。
第15回	科目内容総括	法化社会では、多様な専門知識や経験をもつ人材が必要とされ、また経済のグローバル化により、人材の活躍する舞台が世界的に広げられた。こうした中、社会にとっての法学教育の意義と自分にとっての法学教育の意義乃至その生かし方を考える。
関連 URL		
備考欄		